(2-1) 桂川右岸流域下水道(雨水)~いろは呑 龍 トンネル~

桂川右岸流域下水道雨水対策事業(いろは呑龍トンネル)は京都市(西京区、南区)、向日市、 長岡京市の一部を排水区域(面積1,421ha、人口121,000人)として、計画対象降雨を61.1mm/h(1 /10確率規模)とした浸水対策を実施するもので、平成7年度に事業着手し、平成13年6月に北幹 線第1号管渠、平成23年10月に同第2号・第3号管渠の供用を開始している。これまで既に大きな 効果を発揮しており、平成25年9月の台風18号および平成26年8月の台風11号では、北幹線管渠の 貯留率100%まで雨水を貯留し、浸水被害を大きく軽減した。また、雨水浸水への安全度が向上し たことから、JR桂川駅等の新駅開業と共に駅周辺の商業施設や銀行等の立地、住宅開発等が進む など地域の発展や安心・安全なまちづくりにおいてもストック効果が発揮されている。(P.24参照)

現在、南幹線トンネル工事を進めており、平成32年度の供用開始、平成35年度の事業完成に向け て事業の進捗を図っている。

流入口の様子や 幹線管渠の貯留状況 パソコン用 http://www.pref.kyoto.jp/donryu/index.html 携帯電話用 http://www.pref.kyoto.jp/donryu/m/index.html

(平成29年4月1日現在)

		全 体 計 画	概要	事業	実 績
関	係市	京都市(西京区、南区)、		向日市、長岡京市	
排	水 面 積	1,421 ha		1, 124ha	
対	策 量	238, 200 m³		107, 000 m³	
幹	線管渠	9,179m		4,919m	
雨水ポンプ	名 称	呑龍ポンプ場	abとくに 乙訓ポンプ場	^{てらどがゎ} 寺戸川ポンプ場	乙訓ポンプ場
	所 在 地	京都市 (洛西浄化センター内)	向日市	向日市	向日市
場	吐 出 量	10.0 m³/s	0.61 m³/s	0.26 m³∕s	0.3 m³/s
法	都市計画 当初 平成7年12月12日		最終変更 平成14年8月13日		
手	都市計画法 事業認可 当初 平成8年1月30日		最終変更 平成29年2月7日		
続	下水道法 当初 平成8年1月30日		最終変更 平成28年12月21日		

いろは呑龍トンネル

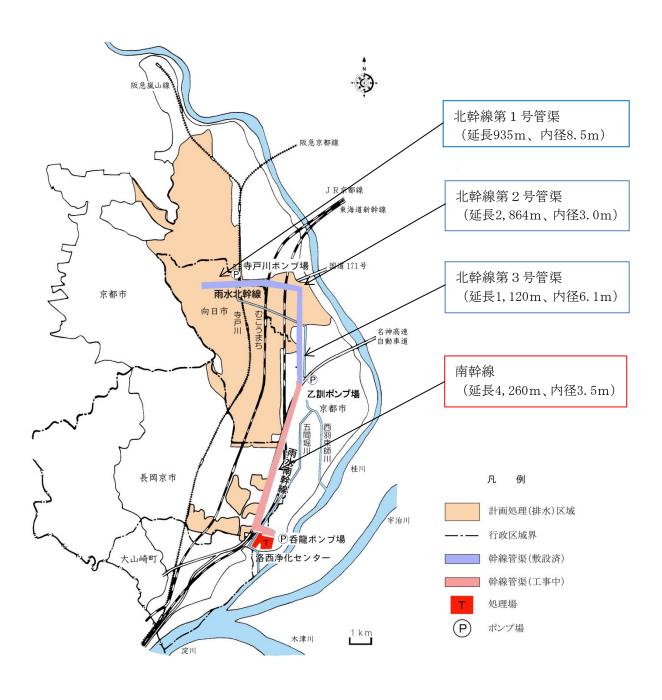
乙訓ポンプ場







桂川右岸流域下水道雨水計画概要



幹線管渠全体延長 9,179m 北幹線延長 4,919m 南幹線延長 4,260m

1200年の時を超え、浸水被害に悩まされた古都・長岡京エリアを守る



before



|京都市、向日市、長岡京市にまたがる桂川右岸地域は、784年に 長岡京がおかれたが、わずか10年で平安京へ遷都。度重なる浸水 被害が理由の1つとされている。

■平成以降も100戸を超える浸水被害がたびたび発生し、京都府では、平成7年度から「いろは呑龍トンネル」の整備を推進している。

にれまでの大雨で計144回、約84万m3の雨水を貯留(延べ 浸水被害軽減戸数は1,300戸以上、軽減額は180億円以上)した。

JR横断部アンダーパスの冠水による通行止め被害を軽減した。

■雨水北幹線1号管渠の供用開始(H13)以降、雨水出水に対する 安全度が向上し、新駅の開業とともに駅周辺での住宅・商業施設・ サービス施設などの立地が進む。

浸水被害の軽減 H11 6.27 発生日 H2 9.13 349.5 時間最大 275.0 125 0 123.0 67.5 41.0 総雨量 56.0 浸水被害 477 戸数 106 ■ 総雨量(mm) ■ 浸水被害(戸数) 北幹線供用開始後は大幅に被害軽減

after



